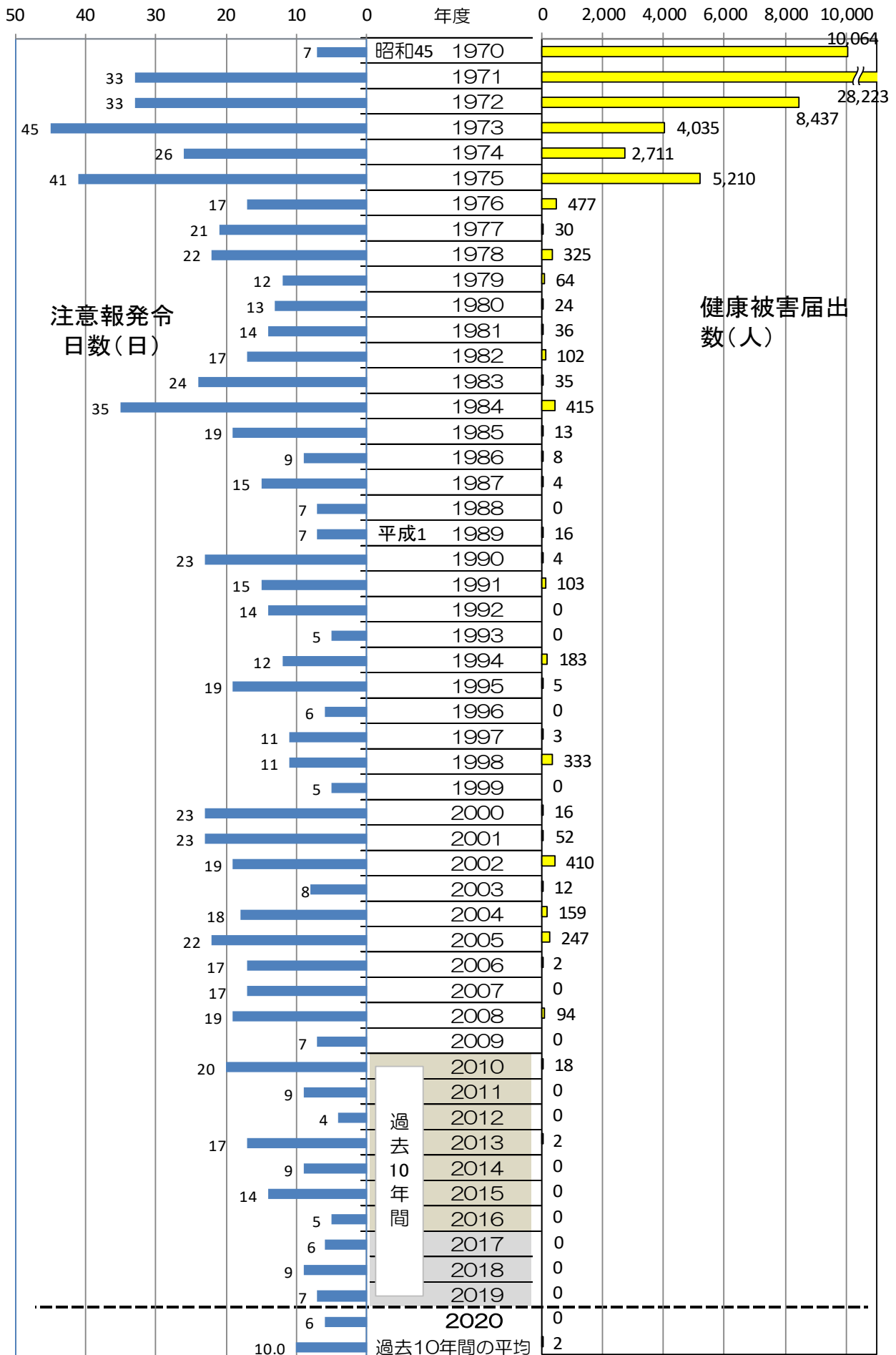
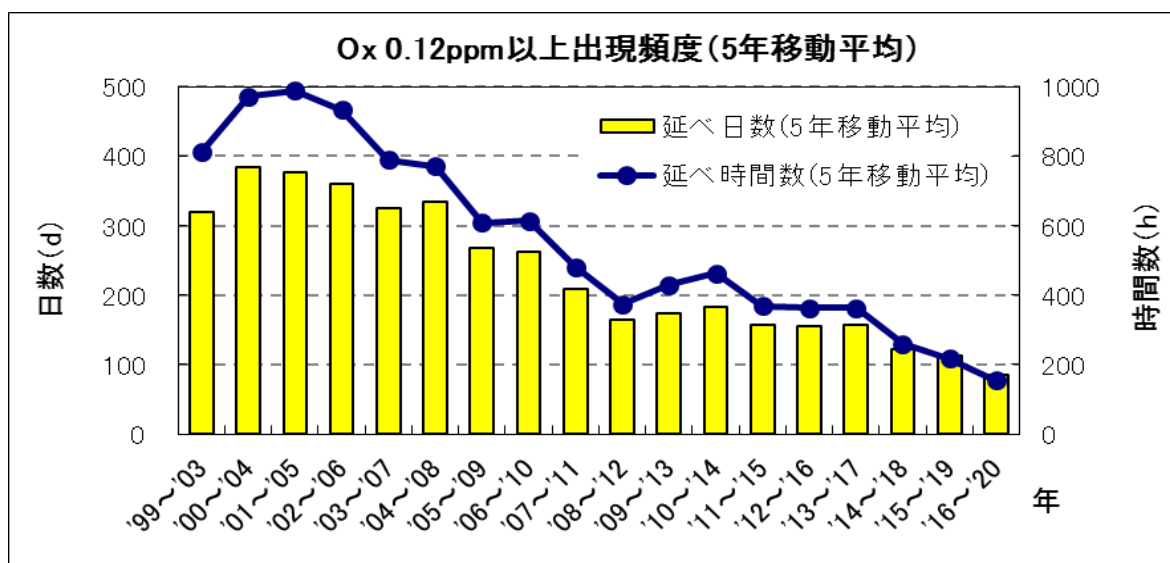


【別図】 光化学スモッグ注意報発令日数と健康被害者数の推移



《光化学オキシダント高濃度日の推移》

都内41地点で測定している光化学オキシダント濃度が、注意報の発令基準の0.12ppm以上となった延べ日数、延べ時間数は近年減少傾向にあります。また、高濃度が長時間、広範囲で続くことは少なくなっています。



《光化学スモッグ低減への東京都の取組》

東京都は、光化学スモッグ注意報発令ゼロを目指して、光化学スモッグが発生しやすい夏季を中心に主要な原因物質である揮発性有機化合物（VOC）対策や窒素酸化物（NO_x）対策に取り組んでいます（「東京都環境基本計画」における目標：2020年度までに光化学スモッグ注意報の発令日数を0とする）。

【事業者等への対策】

- ・「Clear Sky サポーター」登録制度による普及啓発
- ・光化学スモッグ注意報及び予報発令時の協力工場等への燃料使用量削減要請
- ・低公害・低燃費車の普及
- ・「VOC対策セミナー」の開催、「VOCアドバイザー」の派遣及び「東京都VOC対策ガイド」による低VOC技術等の普及
- ・低VOC製品の採用や作業工程の変更（夏季以外）等の普及啓発
- ・大気汚染防止法対象施設への立入指導
- ・法規制対象外の低NO_x・低CO₂燃焼機器の認定と普及

【都民への普及啓発】

- ・光化学スモッグ発生の際は自動車の使用抑制等をHPで呼びかけ
- ・暮らしに身近な生活用品（エアゾール、スプレー製品等）について低VOC商品の選択

【近隣縣市との連携】

- ・各都県市のホームページに夏季のVOC対策を掲載
- ・夏季のVOC対策の共通リーフレットの作成・配布
- ・VOC排出事業者への立入指導を夏季に重点実施

【調査研究】

- ・光化学オキシダント高濃度時のVOC挙動等の解明